

## 鍼灸科

## 解剖学2

|      |      |     |    |      |   |    |      |     |    |    |   |  |
|------|------|-----|----|------|---|----|------|-----|----|----|---|--|
| 対象   | 1年次  | 開講期 | 後期 | 区分   | 必 | 種別 | 講義   | 時間数 | 30 | 単位 | 2 |  |
| 担当教員 | 大迫正文 |     |    | 実務経験 | 有 | 職種 | 歯学博士 |     |    |    |   |  |

## 授業概要

臨床活動をおこなう上で必要な知識である、人体の構造について学びます。

## 到達目標

鍼灸の学習を進める上で必要な解剖学的知識を修得する。医療の基礎となる用語を理解し身に付けることが必要となる。そのうえで人体の各部の構造的特徴を学び人体に対しての理解を深める。人体の外見から推測できる構造から始まり、体内臓器の理解へと進み、体の内外の構造を立体的に把握し全体の深い理解につなげる。

## 授業方法

本授業では、前半に内蔵学を、そして後半には脈管学を学ぶ。内蔵学は、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系で構成される。また、今学期は脈管学の中でも血管系の基礎と、心臓、動脈を学ぶ。これらを構造的および機能的な特徴について学習することを目的とする。

## 成績評価方法

期末試験及び授業中に復習のための小テストを実施する。

## 履修上の注意

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。

## 教科書教材

東洋療法学校協会編解剖学医歯薬出版

| 回数  | 授業計画           |
|-----|----------------|
| 第1回 | 消化器系の基礎、口腔、歯、舌 |
| 第2回 | 唾液腺、咽頭～胃       |
| 第3回 | 小腸、大腸、肝臓、脾臓    |

|      |                    |
|------|--------------------|
| 第4回  | 呼吸器系（鼻腔、喉頭）        |
| 第5回  | 呼吸器系（気管～肺）         |
| 第6回  | 泌尿器系（腎臓）           |
| 第7回  | 泌尿器系（尿管、膀胱、尿道）     |
| 第8回  | 生殖器系（男性生殖器）        |
| 第9回  | 生殖器系（女性生殖器）        |
| 第10回 | 内分泌系               |
| 第11回 | 脈管学（心臓）            |
| 第12回 | 動脈（大動脈、大動脈弓の枝－1）   |
| 第13回 | 動脈（大動脈弓の枝－2：上肢の動脈） |
| 第14回 | 動脈（腹部の動脈、下肢の動脈）    |
| 第15回 | 総合授業               |